静岡新聞で学ぼう

Newspaper in Education

静岡新聞

□の先にプロの世界

バスケB3ベルテックス静岡
賤機北小で講座

児童に経験伝える

静岡市立賤機北小は18日、プロバスケットボールBリーグ3部（B3）のベルテックス静岡の選手を招いたキャリア講座を同校で開いた。全校児童20人がボールを使った運動でプロの技術に触れ、講話を通して努力の大切さを学んだ。

大沢歩、大石慎之介、近藤峻太、山下颯、松尾啓輔、レジナルド・ウォーレンの6選手とチームスタッフが来校した。児童と選手は数人のグループに分かれてボールを頭上や股下から伝達する「順送球」などに挑戦。ドリブルを披露する選手の華麗なボールさばきに、児童が見入った。

講話では、選手が夢を持ち続けることや努力の大切さについて経験談を交えて語った。お昼には児童が選手と一緒に給食を食べ、足のサイズや普段の食事の量を質問した。

バスケットボールを習っている4年生の武山蓮君は「選手はドリブルが速く、背も高くて格好良かった。試合も見てみたい」と笑顔で話した。

（政治部・船田枝里）

ボールを使った運動を楽しむ児童と選手＝静岡市立賤機北小

2019年 12月19日朝刊

① 記事の見出しの□には、この記事で伝えたい大切な漢字2字の言葉が入る。記事中から、その言葉を探して書きなさい。

② 記事にはプロバスケットボールの選手たちが自分たちの経験を子どもたちに2つの方法で伝えようとしていると書かれている。どのような方法か。2つの方法をそれぞれ漢字2字で書きなさい。

[　　]　[　　]

③ 記事を参考にして、「プロの世界」はどのような世界だと考えるか。あなたの考えを30字以上40字以内で書きなさい（句読点を含む）。

←30字

←40字

年　　組　　名前

作問者：NIEアドバイザー　矢沢和宏（焼津市立豊田中学校　校長）

（小学校高学年～中学校／学級活動・総合）